保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ
電話受付 048-992-3970 平日 9：00～17：00 土・日・祝日及び年末年始は除きます

製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ
●通話料無料 0120-963-006
●携帯・IP・公衆電話からは 048-992-2735
電話受付 平日 9：00～17：30 土曜 9：00～17：00 ※日曜・祝日及び年末年始は除きます

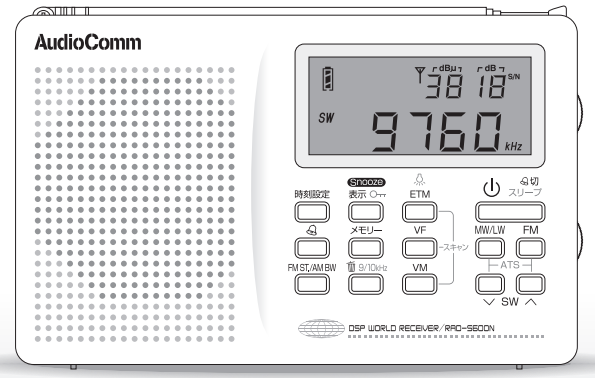
07-7975A

AudioComm®

取扱説明書

DSPワールドレシーバー

型番：RAD-S600N　品番：07-7975



このたびは、AudioComm® DSPワールドレシーバーを お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。本機の性能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

目 次

免責事項…… 1
安全上のご注意 …… 1〜3
乾電池の入れかた …… 3
各部の名称……4〜5
受信状態を良くするために …… 6
スタンドの利用について …… 6
時計の合わせかた …… 6
ロックについて …… 6
ラジオを聴く …… 7〜13
アラーム設定 …… 14〜15
スリープ設定 …… 15
バックライト設定…… 16
FMステレオ切換／AM BW（帯域幅）切換…… 16
ディスプレイの表示切換 …… 16
FM放送の受信レンジ設定 …… 16
MW放送・LW放送の受信ステップ設定…… 17
LW放送の受信オン／オフ設定 …… 17
イヤホンで聴く …… 17
お手入れ方法…… 17
故障かなと思ったら …… 18
主な仕様…… 18
保証書とアフターサービスについて…… 裏表紙

免責事項　下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって３段階に表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

△記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
（左図の場合は感電注意が描かれています。）

○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
（左図の場合は分解禁止が描かれています。）

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜くが描かれています。）

⚠警告

使用禁止	**万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに本機の電源を切り、必ず乾電池を取り外す** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。	禁止	**浴室、台所、加湿器のそばなど、湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない** ●感電や故障の原因となります。
使用禁止	**万一、内部に異物や水などが入った場合は、本機の電源を切り、必ず乾電池を取り外す** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店にご連絡ください。	濡れ手禁止	**濡れた手で操作しない** ●感電の原因になります。
分解禁止	**本機を分解、修理、改造しない** ●火災・感電の原因となります。	接触禁止	**雷が鳴り始めたら、安全のため本機に触れない** ●感電の原因となります。
		禁止	**本機の上に重いものをのせない** ●故障や火災・感電の原因となります。

⚠注意

禁止	**ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない** ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。	禁止	**指定以外の乾電池は使わない** ●乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない** ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。	禁止	**電磁波を発生させる機器（テレビ、モニターなど）に近づけない** ●電磁波により、お互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。
禁止	**ほこりの多い場所に置かない** ●火災・感電の原因となることがあります。	音量は小さく	**電源を入れる前に音量を抑える。また使用中も音量を上げすぎない** ●突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。 ●イヤホンにて使用時に音量を上げて長時間聴くと、周囲の迷惑になるとともに、聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。
アンテナをたたむ	**移動させるときはアンテナをたたむ** ●伸ばしたまま持ち運ぶと引っ掛かったり折れたり、けがの原因になることがあります。		
極性に注意	**乾電池を装着する際は、極性表示（⊕⊖）に注意し正しく入れる** ●電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	乾電池を取り外す	**旅行などで長時間本機を使わないときは、必ず乾電池を取り外す** ●火災・液もれの原因となることがあります。

乾電池を安全にお使いいただくために

乾電池の液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠ 警告	●火中への投入、加熱、分解をしない ●乾電池を幼児に触らせない ●ショートさせない ●新しい乾電池と使用した乾電池、種類の異なる乾電池(マンガンとアルカリ)を混ぜて使わない	⚠ 注意	●⊕⊖の表示通りに入れる ●指定以外の乾電池を使わない ●使い切った乾電池はすぐに取り出す ●しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
●万一お子様が乾電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
●万一もれた液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。失明の原因となります。
●使用済みの電池を廃棄するとき、自治体の条例などで決まりがある場合にはそれに従って廃棄してください。

乾電池の入れかた

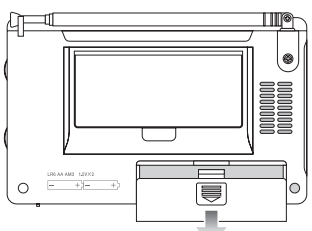
単３形乾電池２本をご用意ください（別売）

⚠ 乾電池を出し入れするときは、電源／スリープボタンを押し、電源が切れた状態で行ってください。

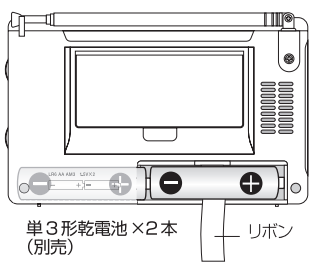
⚠ 電源を切る前には音量（ボリューム）を最小にしてください。次に電源を入れて操作したとき、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

1. 本機背面の電池カバーを矢印の方向にスライドさせて開けます（図①参照）。
2. 単３形乾電池（別売）を２本、⊕⊖の向きに注意しながら正しく入れます（図②参照）。
3. 電池を入れ終えたら、電池カバーを元通りにしっかりと閉めてください。

図①

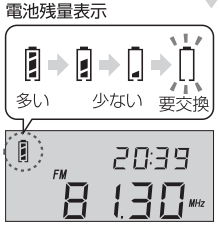


図②



※リボンの上から装着すると、次回交換時に取り出しやすくなります。

電池残量表示

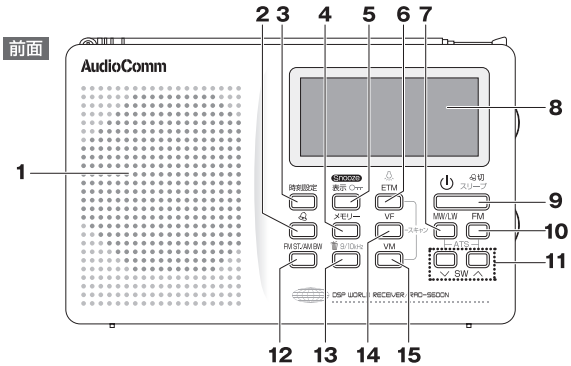


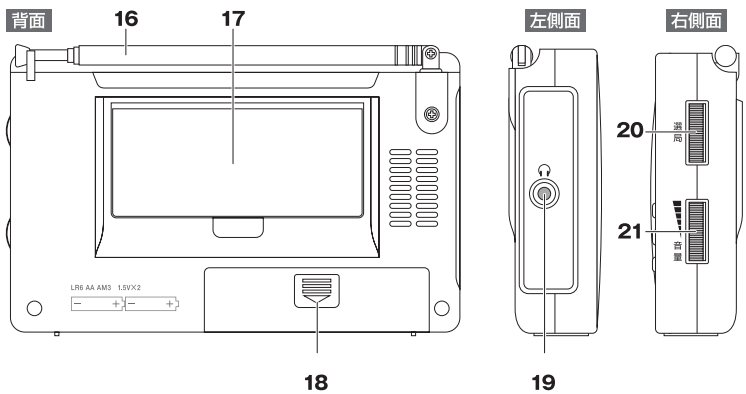
乾電池交換の目安として、乾電池が消耗すると雑音が多くなったりします。このような状態になったら、乾電池を新しいものと交換してください。

アルカリ乾電池をぜひご使用ください

マンガン乾電池、充電式乾電池では使用可能時間が短くなります。

各部の名称

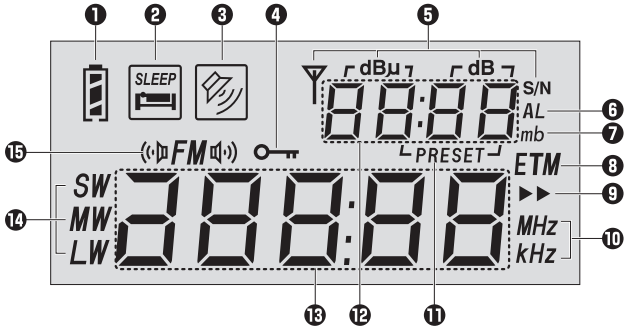




1. スピーカー	12. FMステレオ／ AM BWボタン
2. アラームボタン	13. 消去／ステップ切換ボタン
3. 時刻設定ボタン	14. VFボタン
4. メモリーボタン	15. VMボタン
5. 表示／ロック／スヌーズボタン	16. ロッドアンテナ
6. ETM ／バックライトボタン	17. スタンドフラップ
7. MW ／ LWボタン	18. 電池カバー
8. ディスプレイ	19. イヤホン端子
9. 電源／スリープボタン	20. 選局ダイヤル
10. FMボタン	21. 音量ダイヤル
11. SWボタン(∨/∧)	

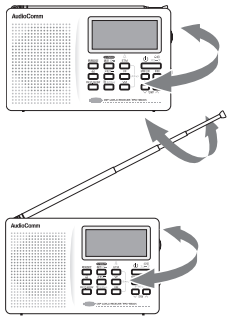
各部の名称（つづき）

ディスプレイ表示



❶電池残量表示
❷スリープマーク
❸アラームマーク
❹ロックマーク
❺受信レベル表示
❻アラームマーク
❼メーターバンドマーク
❽ETM マーク
❾選局スピード表示
❿周波数表示
⓫プリセットマーク
⓬数字表示エリア
　電源切時／アラーム時間
　電源入時／時計、受信レベル、音量、プリセット番号、
　　メーターバンド、アラーム時間など
⓭数字表示エリア
　電源切時／時計
　電源入時／周波数、各種設定のオン／オフなど
⓮バンド表示
⓯FM ステレオマーク

受信状態を良くするために



●MW・LW放送の受信
本機にバーアンテナが内蔵されています。本機の向きを変えて調節してください。

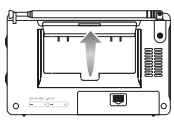
●FM放送・SW放送の受信
ロッドアンテナを伸ばし、アンテナの角度や、本機の向き・場所を調節してください。

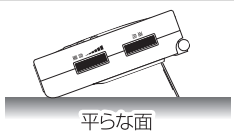
ヒント

●部屋の奥より窓際のほうがよい状態で受信できます。
●ご希望の放送局を聴きながら、帯域幅を調節することで音声が聴きとりやすくなることがあります。「FMステレオ切換／AM BW（帯域幅）切換」(P.16)を参照して調節してください。

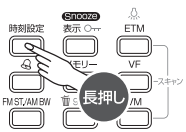
スタンドの利用について

机の上など平らな場所に設置するときは、背面のスタンドフラップを手前に起こし、寝かせてご使用ください。安定した状態で操作できます。



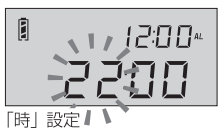


時計の合わせかた



電源が切れた状態での操作例

1. ディスプレイの「時」表示が点滅するまで時刻ボタンを長押しし、選局ダイヤルを使って「時」を合わせます。
2. もう一度時刻ボタンを押すと「分」表示が点滅しますので、選局ダイヤルを使って「分」を合わせます。
3. もう一度時刻ボタンを押すと、時刻設定が確定します。

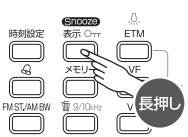


「時」設定

「分」設定

ヒント 電源が入っているときはディスプレイの時刻表示が右図の位置になりますが、操作方法は同じです。

ロックについて



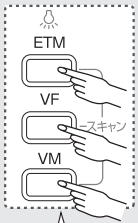
表示／ロック／スヌーズボタンを長押しすると、ボタン操作が無効になり、誤操作を防止することができます（ディスプレイにロックマークが表示されます）。ロックを解除するにはもう一度同ボタンを長押しして、ロックマークを消します。

ヒント 電源が入っているときにロック設定をしても、音量ダイヤルだけは操作が有効になります。

はじめに

本機での選局モードとプリセット登録方法について

本機では、お好みに合わせて3つの選局モード(選局操作方法)を選ぶことができます。



各モードのボタンを押して切り換えます。

ETMモード(Easy Tuning Mode)

●ETM(P.12)…ご利用エリアや電波状況に応じて、受信可能な放送局を一括スキャニングします。スキャニングした結果はETM単独のメモリー領域に自動的に保存され、簡単に呼び出すことができます。

VFモード(View Frequency)

周波数をベースに選局するモードです。受信状況に合わせて周波数を微調整したい場合などに便利です。

●手動受信(P.9)…お聴きになりたい放送局に周波数を合わせる最もオーソドックスな選局方法です。

●手動メモリー(P.10)…手動受信で選局した放送局をプリセット登録します。登録した放送局はVMモードで選局できます(P.11～12)。

●オートブラウズ選局(P.11)…放送局を順に試聴しながら聴きたい放送局を選べます。オートブラウズ選局中にプリセット登録(オートブラウズメモリー)することもできます。登録した放送局はVMモードで選局できます(P.11～12)。

●ATS(Auto Tuning Storage)(P.10)…バンドごとにスキャニングしながら、受信可能な放送局を一括してプリセット登録します。登録した放送局はVMモードで選局できます(P.11～12)。

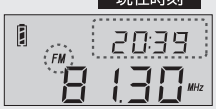
VMモード(View Memory)

●手動メモリーやATS、オートブラウズメモリーによって登録した放送局を選局するモードです(P.11～12)。

バンドの選択とディスプレイ表示例

バンドはFMボタン、MW ／ LWボタン、SWボタンを押すことで切り換えます。また、ディスプレイ右上の数字表示エリアは、電源が入っているときに表示／ロック／スヌーズボタンを押すたびに切り換えることができます(P.16参照)。

現在時刻

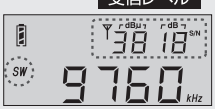


FM放送の表示例

アラーム時刻

MW放送の表示例

受信レベル



SW放送の表示例

※LW放送を受信するときは、「LW放送の受信オン・オフ設定」(P.17)を参照してください。

以降の解説の中では、主にFM放送の表示を例に説明していきます。

SW放送(短波放送)について

短波は地上70～500kmにある電離層に反射する特性があり、地表と電離層の間を遠くまで進むため、地球の裏側で発せられた短波放送を受信することができます。

<周波数の変更について>

小さい出力で遠くまで受信できる短波放送ですが、一方では電波の伝わり方が季節によって変化する特徴もあります。夏は高い周波数、冬は低い周波数のほうがよく伝わります。そのため各放送局は複数の周波数を使うとともに、年に何回か周波数の変更を行っています。また、混信が発生した場合も周波数修正を行っています。

メーターバンドとは

短波(SW)放送は国際協定により放送局ごとに使える周波数帯を割り当てられています。この周波数帯のことを「メーターバンド」といい、これにより世界の電波の混信を防いでいます。本機が受信できるメーターバンドは以下の通りです。SW放送を受信する際は、SWボタン(∨/∧)を数回押してメーターバンドを選んでから選局ダイヤルで選局してください。

メーターバンド	周波数帯	主な放送局
120m	2300～2550kHz	熱帯地方のローカル局
90m	3150～3450kHz	熱帯地方のローカル局
75m	3850～4050kHz	ラジオNIKKEI(日)
60m	4700～5100kHz	熱帯地方のローカル局
49m	5700～6300kHz	ラジオNIKKEI(日)・ラジオ韓国(日)・VOA(英)
41m	7080～7600kHz	ラジオ日本(日／英)・BBC(英) VOR(日／英)・中国国際放送(日／英)
31m	9200～10000kHz	ラジオ日本(日／英)・ラジオNIKKEI(日) BBC(英)・VOA(英)・ラジオ韓国(日／英)
25m	11450～12200kHz	ラジオ日本(日／英)・BBC(英) VOA(英)・DW(英)
22m	13500～13900kHz	ラジオ韓国(英)・オランダ放送(英) ラジオフランス(仏)
19m	15000～15900kHz	ラジオ日本(日／英)・VOA(英) BBC(英)・ラジオフランス(仏)
16m	17450～17900kHz	ラジオ日本(日／英)・BBC(英)・VOA(英) ラジオオーストラリア(英)・DW(英／独)
15m	18850～19100kHz	遠距離向け国際放送
13m	21430～21950kHz	ラジオ日本(日／英) ラジオオーストラリア(英)・DW(英／独)

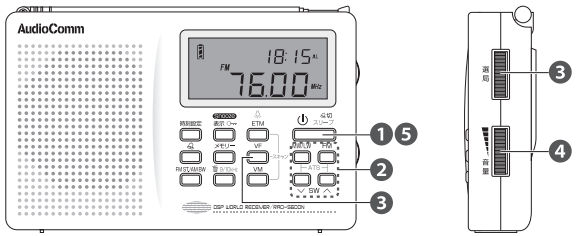
(日)…日本語放送　(英)…英語放送　(仏)…フランス語放送　(独)…ドイツ語放送

ラジオNIKKEIについて

ラジオNIKKEIには投資や株式のビジネス情報から、英会話などの教育番組や競馬情報などのエンターテインメントまで、あらゆる情報が満載です。短波放送なので、海外でも受信できます。詳細はhttp://www.radionikkei.jp/をご参照ください。

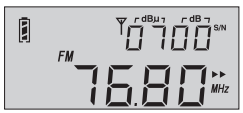
第1放送	JOZ4 3.925MHz JOZ2 6.055MHz JOZ3 9.596MHz	第2放送	JOZ5 3.945MHz JOZ6 6.115MHz JOZ7 9.760MHz

手動受信の方法（基本操作）



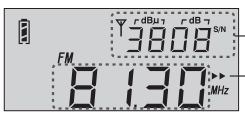
1 電源／スリープボタンを押して電源を入れます。
「On」表示に続いて周波数表示に切り換わります。

2 お聴きになりたいバンドを選びます。



- ●FM放送を聴くときはFMボタン、MW放送を聴くときはMW ／ LWボタンを押します。
- ●SW放送を聴くときは、SWボタン（∨/∧）を数回押して、お聴きになりたいメーターバンドを選びます。
- ●LW放送を受信するときは、「LW放送の受信オン・オフ設定」（P.17）をオンにしたうえで、MW ／ LWボタンを押して切り換えてください。

3 VFボタンを押した後、選局ダイヤルを回して、お聴きになりたい放送局を選びます。
選局ダイヤルを回す早さによって、周波数の変化のしかたが異なります。



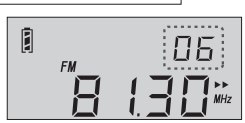
受信レベル表示

dBμ…電波の強さを数字で表します（数字が大きい方が信号が強い）。
dB …ノイズと信号のレベル差を表します （数字が大きい方がノイズが少ない）。
※他の表示モードになっているときは表示／ロック／スヌーズボタンを数回押してください。

周波数表示

操作・表示 ／ バンド	▶ ゆっくり回す	▶▶ 早く回す
	受信ステップ	
FM	0.01MHz	0.1MHz
MW ／ LW	1kHz	9kHzまたは10kHz（LWは9kHz）
SW	1kHz	5kHz

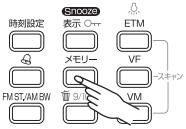
4 音量ダイヤルで音量を調節します。
音量は0～30までの間で調節できます。音量ダイヤルを回すとディスプレイの右上にレベルが表示され、操作後約3秒で元の表示に戻ります。お聴きになるバンドによって音量が異なることがありますので、バンド切換時などは特にご注意ください。



5 ラジオを切るときは、電源／スリープボタンを押して電源を切ります。
「OFF」と表示された後に電源が切れ、時刻表示に戻ります。

手動メモリー

手動で受信した放送局をプリセット登録しておくと、次回から簡単に選局できるようになります。
FM、MW、LW放送は各100局、SW放送は250局まで登録できます。



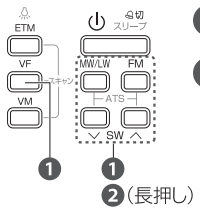
1 受信中にメモリーボタンを押します。
「PRESET」とプリセット番号が点滅します。

2 「PRESET」とプリセット番号が点滅している間に、もう一度メモリーボタンを押すと、登録が確定します。
完了すると点滅が止まります。

ヒント
- ●プリセット番号を変更したいときは、プリセット番号が点滅している間に選局ダイヤルを回して番号を選び、メモリーボタンを押します。
- ●手動メモリーを行った直後は、選局ダイヤルを動かすとプリセット番号が変化し、登録されている放送局を受信することができます。

ATS（Auto Tuning Storage）

各バンドごとにスキャニングを行い、受信可能な放送局を一括してプリセット登録します。



1 VFボタンを押した後、スキャニングしたいバンドを選びます。

2 ❶で押したバンドのボタンを長押しします。
周波数が自動で送られ、ATSによるスキャニングが始まります。終了するまでしばらくお待ちください。

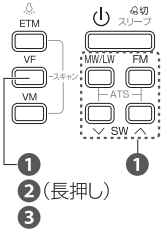
受信可能な放送局が見つかるごとに、プリセット番号が増えていきます。

ヒント
- ●SW放送では、ボタンによってスキャニング範囲が異なります。
  SWボタン（∨）…全メーターバンドをスキャニングして登録します。
  SWボタン（∧）…選択中のメーターバンド内をスキャニングして登録します。
- ●ATSを行った直後は、選局ダイヤルを動かすとプリセット番号が変化し、受信することができます。

ご注意
- ●ATSを実行すると、SWボタン（∧）を長押しした場合を除き、それまでにプリセット登録された内容（手動メモリーでの登録を含む）が上書きされますのでご注意ください。
- ●SWボタン（∧）を長押しした場合は、新しい受信放送局が空いているメモリー番号に追加登録されます。
- ●ATSの結果が芳しくないときは、電波の干渉を受けにくい場所に移動したり、アンテナの方向を確認し、できるだけ良好に受信できるよう調整してください。

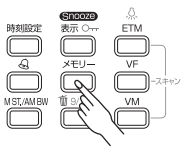
オートブラウズ選局

自動でスキャニングをしながら、受信可能な放送局が見つかると約５秒間ずつ受信していきます。各放送を試聴しながら、聴きたい放送局を選ぶことができます。



1. VFボタンを押した後、スキャニングしたいバンドを選びます。
2. VFボタンを長押しします。
   ▶▶が点滅しながら周波数が自動で送られ、受信可能な放送局が見つかると約5秒ずつ受信します。
3. 再度VFボタンを押すと、スキャニングを停止し、その放送局を受信します。

オートブラウズ選局中にプリセット登録をする

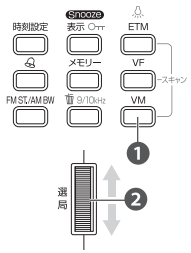


- ●オートブラウズ選局中にメモリーボタンを押すと、空いているプリセット番号にその放送局を登録することができます（**オートブラウズメモリー**）。登録完了後は、次のスキャニングが始まります。
- ●スキャニングを終了するときはVFボタンを押してください。

手動メモリー・ATS などによって登録した放送局の受信方法

手動メモリーやATS、オートブラウズメモリーでプリセット登録した放送局は以下の方法で選局することができます。

手動メモリー選局

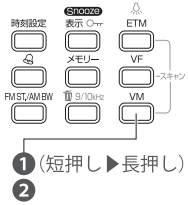


1. VMボタンを押してVMモードにします。
2. 選局ダイヤルを回して、お聴きになりたいプリセット番号を選びます。

プリセット番号
※「PRESET」とプリセット番号は、VMボタンを押した直後のみ点滅し、選局ダイヤルを回すと点滅が停止します。さらに数秒後に消え、元の表示に戻ります。

オートブラウズメモリー選局

プリセット登録された放送局を約５秒ずつ試聴しながら、お聴きになりたい放送局を選ぶことができます。



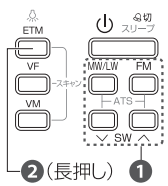
1. VMボタンを押した後、「PRESET」が点滅するまで、もう一度VMボタンを長押しします。
   プリセット登録された放送局を、約５秒ずつ受信します。
2. 聴きたい放送局を試聴中にVMボタンを押します。
   試聴が終了し、聴いている放送局を受信します。選局ダイヤルを回した場合もその放送局を受信し続けます。

プリセット番号
※オートブラウズメモリー受信中は「PRESET」のみが点滅します。

ETM で選局する方法

ETMを使うと、受信可能な放送局を一括スキャニングし、簡単に選局することができます。FM、MW、LWが各最大100局、SWが最大250局まで保存できます（最大合計550局）。

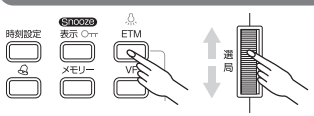
ETMと他のプリセット登録との違いについて
ETMでは手動メモリーやATS、オートブラウズメモリーとは違う領域に放送局を登録します。また、ETMで保存した放送局は、次にETMモードでスキャニングをするまで有効です（他のプリセット登録を更新しても、ETMは更新されません）。したがって、普段お使いの場所とは違う国や地域で本機を使うときなど、ATSなどによるプリセット登録を消したくない場合は、ETMにて受信可能な放送局を保存し、選局することをおすすめします。



1. スキャニングしたいバンドを選びます。
2. ETM／バックライトボタンを長押しします。
   ETMマークが点滅しながら周波数が自動で送られ、受信可能な放送局を順次登録していきます（ETMマークが点滅）。スキャニングが終わると、登録された放送局を受信します。

登録された放送局数を表示します（スキャニング中のみ）。

ETM で登録された放送局の選択方法



ETM／バックライトボタンを押してETMモードにした後、選局ダイヤルで放送局を選びます。
※ETMモードではETMマークが表示されますが、プリセット番号は表示されません。

ヒント 時間帯により受信状況が異なるため、ETMは午前、午後、夜間など、その都度更新することをおすすめします。

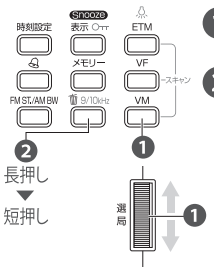
ラジオを聴く（つづき）

登録した放送局を削除する

登録した放送局を削除するには、以下の解説を参照して操作してください。

ご注意 何もしない時間が約3秒間続くと、各操作がキャンセルされます。その際は最初からやり直してください。

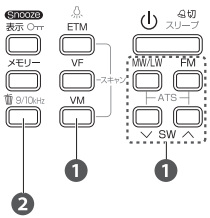
個別に登録局を削除する



1. VMボタンを押した後、プリセット番号を見ながら削除したい放送局を受信します。
2. 「dEL」が表示されるまで消去／ステップ切換ボタンを長押しします。いったん指を離し、もう一度消去／ステップ切換ボタンを押すと削除されます。

「dLE」とプリセット番号が約3秒間点滅します。点滅中に消去／ステップ切換ボタンを押してください。

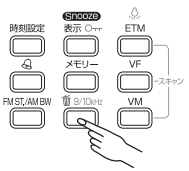
バンドごとに一括削除する



1. VMボタンを押した後、消去したいバンドを選びます。
   FM放送の場合はFMボタン、MW放送の場合はMW／LWボタン、SW放送の場合はSWボタン(∨/∧)を押します。
2. 「dEL」が表示されるまで消去／ステップ切換ボタンを長押しします。さらに長押しを続けると、「ALL」の点滅表示に変わります。いったん指を離し、もう一度消去／ステップ切換ボタンを押すと削除されます。

長押しを続けると「ALL」のみの点滅になります。点滅中に消去／ステップ切換ボタンを押してください。

オートブラウズメモリー削除



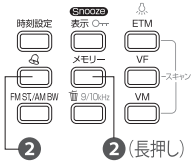
オートブラウズメモリー選局(P.12参照)にて消去したい放送局を試聴中に、消去／ステップ切換ボタンを押します。
「dEL」表示とともにプリセット番号「ーーーー」が点滅した後、削除されます。削除後は次の放送局に移ってオートブラウズメモリー選局が続きます。

ヒント オートブラウズメモリー削除を終了するときは、消去／ステップ切換ボタン以外の任意のボタンを押します。

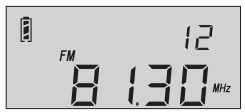
アラーム設定

お好きな放送局を起動音にしてアラームを設定することができます。

アラーム起動音にする放送局を選ぶ



1. 起動音にしたい放送局を受信し、アラーム起動時に設定したい音量にします。

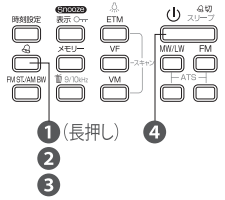


音量レベルは10以上に設定してください（仕様上、最低音量が10になります）。放送局の選択は、P.7～12を参照してください。

2. 「PRESET」が点滅するまでメモリーボタンを長押しし、その後すぐにアラームボタンを押します。

プリセット番号とアラームマークが順に点滅し、設定が確定すると点滅が止まります。（プリセット番号の部分は元の表示に戻ります）。

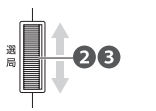
アラーム時刻を設定する

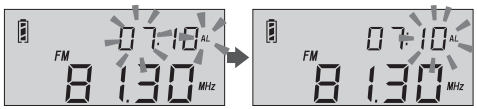


1. アラームボタンを長押しします。

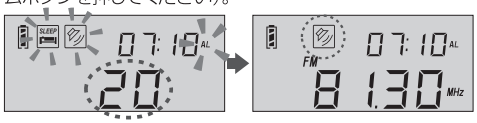
ディスプレイ右上の表示がアラーム設定時刻になり、アラームマークと「時」表示が点滅します。

2. 選局ダイヤルで「時」を選び、アラームボタンを押します。
   同様に「分」も選び、アラームボタンを押します。





3. 選局ダイヤルでアラーム起動から終了までの時間(分)を選び、アラームボタンを押します。
   設定が確定します（ディスプレイにアラームマークが表示されていることを確認し、表示されていない場合はアラームボタンを押してください）。

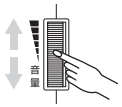


4. 電源／スリープボタンを押して電源を切ります。

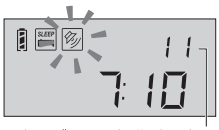
ヒント 操作しない時間が約3秒間続くと、それまでの設定にて操作が完了します。必要に応じて、もう一度最初から設定し直してください。

アラーム設定(つづき)

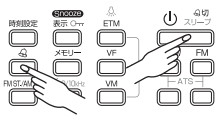
アラーム起動中の操作



●起動中はディスプレイが時計表示固定になりますが、音量ダイヤルで音量を調節することは可能です。



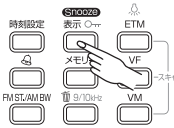
音量ダイヤル操作時に表示



●電源／スリープボタンを1回押すと、ディスプレイが受信している周波数の表示に変わります。その後アラームボタンを押すとアラームマークが消え、アラーム解除となります(ラジオは引き続き受信します)。

アラームマークが消えて
アラーム解除

スヌーズ機能について



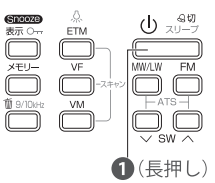
アラーム起動中に表示／ロック／スヌーズボタンを押すとラジオの音声が一時停止し、約5分後に再度鳴り始めます(一時停止中はアラームマークが点滅します)。アラーム解除時間を5分より短く設定している場合でも、アラームを切る操作をしない限りスヌーズが優先されます。

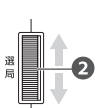
ヒント 一度アラームとして設定した放送局や起動時刻などは保持されます。次に同じ内容で設定したいときは、アラームボタンを押してアラームマークを表示させてください。

ご注意 アラーム音が周囲の迷惑にならないよう、使用前に音量を確認してください。

スリープ設定

電源が切れている状態で操作してください。



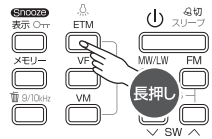


1. スリープマークが点滅するまで電源／スリープボタンを長押しします。
2. スリープマークが点滅を始めたら、すぐに選局ダイヤルを回してタイマー時間を設定します。
   120分、90分、75分、60分、45分、30分、15分、10分、5分、1分、On(スリープ機能なし)から選択できます。約3秒するとスリープマークの点滅が止まり、設定が確定します。

ご注意 一度設定したスリープ設定は、以降に電源を入れたときにも有効になります。スリープ設定を解除したい場合は、上記の操作で「On」に設定し直してください。

バックライト設定

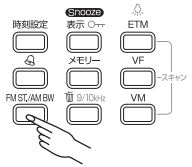
電源が切れている状態で操作してください。



電源が切れているときにETM／バックライトボタンを長押しすると、バックライトの点灯設定ができます(バックライトが2回点滅し、オン／オフが切り換わります)。

On	ボタン操作に応じて3秒間点灯
OFF	バックライト常時オフ

FMステレオ切換／ AM BW(帯域幅)切換

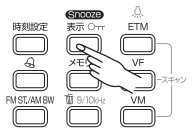


●φ3.5mmステレオミニプラグのイヤホンを接続してFMステレオ放送を聴いているときにFMステレオ／ AM BWボタンを押すと、ステレオ音声でお楽しみいただけます(FMステレオマーク((FM))が表示されます)。もう一度押すと解除され、モノラル音声に戻ります(FM)。

●MW放送、LW放送またはSW放送を聴いているときにFMステレオ／ AM BWボタンを押すと、6・4・3・2・1kHzの単位で帯域幅を調節できます。帯域幅が6kHzではもっとも忠実度が高くなりますが、近接する放送電波の影響を受けやすくなります。受信状況に合わせて調節してください。

ヒント FMステレオ放送に雑音が入る場合は、FMステレオ受信を解除してください。雑音が軽減され聴きやすくなることがあります(音声はモノラルになります)。

ディスプレイの表示切換



電源が入っているときに表示／ロック／スヌーズボタンを押すと、押すたびにディスプレイの右上に表示される情報を切り換えることができます。

電源オン時の表示切換

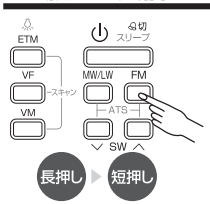
現在時刻表示　受信レベル表示　アラーム時刻表示

電源オフ時の表示切換

アラーム時刻
表示のみ

FM放送の受信レンジ設定

電源が切れている状態で操作してください。



本機をご利用になるエリア(主に海外の場合)に合わせてFM放送の受信レンジを変更することができます。電源が切れているときにFMボタンを長押しし、さらに数回押してご希望の受信レンジを選びます。

87.5-	87.5～108MHz	64-	64～108MHz
76-	76～108MHz	87-	87～108MHz

ヒント 日本国内のFM放送は76-(76～108MHz)に設定してください。

MW放送・LW放送の受信ステップ設定

電源が切れている状態で操作してください。

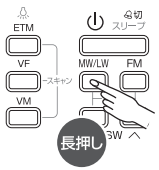
電源が切れているときに消去／ステップ切換ボタンを長押しすると、長押しするたびにMW放送・LW放送受信時の受信ステップ数を切り換えることができます。

9kHz	選局ダイヤルを早く回したときのステップが9kHzごとなります。 （北米・南米以外の地域の放送）
10kHz	選局ダイヤルを早く回したときのステップが10kHzごとなります。 （北米・南米の地域の放送）

ヒント 日本国内のMW放送は9kHzに設定してください。

LW放送の受信オン／オフ設定

電源が切れている状態で操作してください。

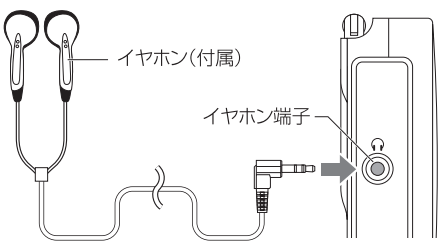


電源が切れているときにMW ／ LWボタンを長押しすると、電源オン時にMLボタンを押した際、LW放送を受信するか否かの切換ができるようになります。

On	ML放送とLW放送を切り換えます。
OFF	LW放送をオフにして、MW放送のみを受信します。

イヤホンで聴く

付属のステレオイヤホン（φ3.5mmステレオミニプラグ）を、左側面にあるステレオイヤホン端子につなぎます。イヤホンをつなぐとスピーカーからの音は聴こえなくなります。



ご注意

イヤホンをご使用の際は、本機の音量を下げた状態でイヤホン端子に接続してください。また、使用時の音量の上げすぎにもご注意ください。聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。

お手入れ方法

本体の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しない

故障かなと思ったら

症　状	チェック項目
電源が入らない	●乾電池が正しく入っていますか。また、乾電池は消耗していませんか。
音が出ない	●音量が最小になっていませんか。 ●イヤホン端子にイヤホンが接続されていませんか。
雑音が入る／音が震える	●近くで携帯電話を使用していませんか（携帯電話を本機から離して使用してください）。 ●テレビやパソコン、蛍光灯などの近くで、MW・LW・SW放送を受信していませんか（雑音が入ることがあります）。また、テレビの近くで本機を使用するとテレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。
操作ができない	●ロック設定が有効になっていませんか。 ●一時的に誤作動している可能性があります。乾電池を取り外し、30秒以上経過してから再び装着して電源を入れてみてください。

主な仕様

受信周波数	FM ：76～108MHz（64～108MHz、87～108MHz、87.5～108MHzへ設定変更可能）
	MW：522～1620kHz（10kHzステップ時：520～1710kHz）
	LW ：153～513kHz
	SW ：2.30～21.95MHz
メーターバンド（SW）	120m、90m、75m、60m、49m、41m、31m、25m、22m、19m、16m、15m、13m
スピーカー	口径57mm　250mW　8Ω
イヤホン端子	φ3.5mmステレオミニジャック
電源	DC3V 単3形乾電池×2本（別売）
連続使用時間の目安 ※新品のアルカリ乾電池使用・音量中程度の場合	イヤホン使用時： FM約76時間／MW約78時間／SW約73時間／LW約75時間
	スピーカー使用時： FM約44時間／MW約43時間／SW約43時間／LW約42時間
外形寸法	幅128×高さ82×厚さ28mm（突起物含まず）
時計	精度 月差60秒以内
質量	約178g（乾電池含まず）
付属品	ステレオイヤホン、取扱説明書（本書）　保証書

※仕様及び外観は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
※この取扱説明書で使用しているイラストは、一部実際の製品と異なる場合があります。